

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁 受付年月日
A200800437 2008-1698 2008/07/05 (事故発生地) 東京都	扇風機 森田電工株式会社 MF-25B	火災が発生し、火災現場に当該製品があった。 (火災)	○当該製品の樹脂はほとんど焼損、焼失していた。 ○残存していた電気部品（モーター、スイッチ）、内部配線、電源コードに熔融痕等の発火の痕跡は認められなかった。 ○焼失等によって一部の電気部品（コンデンサー）が確認できなかった。 ○当該製品のスイッチは「強」の状態、使用者が外出している間に火災が発生した。 ●事故原因は、当該製品の焼損が著しく、電気部品等の一部が焼失して確認できないことから、製品起因か否かを含め原因の特定はできなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2008/07/30)
A200800533 2008-2137 2008/08/20 (事故発生地) 東京都	充電式クリーナー 株式会社オーム電機 SOJ-TRV10	当該製品付近から出火したと思われる火災が発生した。 (火災)	○当該製品は上面の焼損が著しく、前方上部は焼失し内部基板の一部も焼失していた。 ○当該製品の底面及び充電電池の装填部はほとんど焼損しておらず、残存している電気部品等に熔融痕等の発火の痕跡は認められなかった。 ●事故原因は、当該製品の焼損状況から外部からの延焼の可能性も考えられたが、内部基板の一部が焼失していたため、製品起因か否かを含め原因の特定はできなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2008/08/22)
A200800555 2008-2289 2008/06/27 (事故発生地) 沖縄県	扇風機 松下エコシステムズ(株) (現 パナソニックエコシステムズ(株)) F-40R2D	当該製品から発煙する火災が発生した。 (火災)	調査の結果、当該製品から出火したと考えられたが、回収された当該製品のモーター、コンデンサー、内部配線に発火の痕跡はみられず、内部の制御基板部が未回収であったことから、原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2008/08/29)

経済産業省及び 消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は 消費者庁 受付年月日
A200801033 2008-4299 2008/12/21 (事故発生地) 岐阜県	電気温風機（セラミック ファンヒーター） 岩谷産業株式会社 ICH-ESW3	当該製品の電源を入れて5分ほど運転したところ、当該製品の電源プラグを接続した壁コンセントから火柱が上がったため、消火した。また、出火の際に壁が焼損した。 (火災)	事故原因は、当該製品の電源プラグ内のプラグ刃と電源芯線との接続方法（カシメ加工）に接続不良があったため、発熱が生じて絶縁劣化を起こして短絡し、出火したものと考えられた。なお、コンセントに異常は認められなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2009/01/05)
A200801055 2008-4346 2008/12/31 (事故発生地) 東京都	電気毛布 旭産業有限公司（現 旭産業株式会社） SE-350（三菱電機株式会社ブランド）	当該製品から出火し、1名が両足に火傷を負った。 (火災)	事故原因は、長期間の使用（約40年）によって、ヒーター線に捻れ等が生じ、また、日常的に折りたたんで使用されていたために、ヒーター線が近接し異常発熱したことに加え、電源スイッチ（シーソースイッチ）が折損していたが、故障状態のまま使用されたため、常時通電状態となり、異常発熱時に通電を停止する安全装置が正常に作動せず、異常発熱が継続して出火に至ったものと考えられた。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2009/01/09)
A200801090 2008-4482 2008/12/14 (事故発生地) 山梨県	デスクヒーター 太陽工業株式会社 DH-204	当該製品の差し込みプラグの一部が焦げた。 (火災)	事故原因は、当該製品の差し込みプラグの製造工程において、栓刃（プラグ刃）とコード芯線を接続する際に、コード芯線の絶縁被覆の一部が同時にかしめられたために、芯線に負担が掛かって半断線し、発熱、出火に至ったものと考えられる。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2009/01/16)

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁 受付年月日
A201000725 2010-3235 2010/11/22 (事故発生地) 秋田県	電子レンジ 小泉成器株式会社 KRD-0106	当該製品で食材を解凍中、当該製品のスイッチ操作部付近から発煙・出火する火災が発生し、当該製品及び周辺が焼損した。	事故原因は、当該製品使用時に、扉を開閉し、電源の入切が繰り返されることでドアの開閉を検知するスイッチが接触不良となり、スパーク（電気火花）が発生し、トラッキング現象（絶縁破壊による短絡）が起こり、発煙・発火に至ったと考えられる。	輸入事業者である株式会社小泉成器では、平成19年9月12日に新聞社告を掲載し、注意喚起を行うとともに、対象商品について無償改修を実施しています。	(受付:2010/11/30)
A201000728 2010-3238 2010/11/23 (事故発生地) 広島県	電子レンジ 三洋電機株式会社 EMO-CH7	当該製品を使用後、当該製品内部より発煙・出火する火災が発生し、当該製品が焼損した。	事故原因は、製品内部の電源コードと基板を接続する配線に製造時の不具合があったため、使用に伴って接触不良が生じ、接続部が発熱して電源コード被覆が発火し、製品内の冷却用ファンに延焼したのと考えられた。	三洋電機株式会社では、事故の再発防止を図るため、平成20年6月21日、新聞社告を掲載し、対象製品について、無償改修を実施しています。また、同社では、平成21年6月9日から18日にかけて新聞広告を再度掲載すると共に、平成22年9月に当該コール情報を掲載したチラシを作成し、販売店や消費生活センター等へ配布するとともに、消費者に配布し、情報の周知を行っています。	(受付:2010/12/01)
A201000736 2010-3266 2010/11/22 (事故発生地) 茨城県	電子レンジ 株式会社千石（岩谷産業株式会社ブランド） IM-574（岩谷産業株式会社ブランド）	当該製品を使用中、異臭がしたためタイマースイッチを切った。しばらくすると当該製品の操作パネル部分から出火する火災が発生し、当該製品が焼損した。	事故原因は、ドアの開閉を検知するスイッチの製造不良により、接点部でスパークし、出火したと考えられる。	販売事業者である岩谷産業株式会社は、事故の再発防止を図るため、平成15年9月2日から複数回、新聞社告を掲載するとともにテレビCM放送で、注意喚起を行い、対象製品について、無償改修（スイッチ部の交換）を実施しています。また、本年も6月以降、未対策品による事故が4件（本件除く。）発生したことを受けて、平成22年9月21日から9月29日までの間及び11月16日から11月24日までの間、テレビCM放送で使用者に対して無償改修を受けるよう呼び掛けていました。	(受付:2010/12/03)

経済産業省及び 消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は 消費者庁 受付年月日
A200800223 2008-0978 2008/05/23 (事故発生地) 千葉県	油だき温水ボイラ 株式会社長府製作所 PG-34	シャワー使用中にプレーカーが作動し、ボイラの下部から出火した。 (火災)	調査の結果、缶体内及びバーナー部に異常燃焼した痕跡が認められなかったため、電気部品からの出火の可能性が考えられたが、当該製品の焼損が著しいため、原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2008/06/04)
A200800243 2008-1071 2008/05/29 (事故発生地) 熊本県	石油ふろがま 株式会社長府製作所 J P 2 S	風呂場で異音がするため、確認するとふろがまから出火していた。 (火災)	調査の結果、長期間使用(約20年)により、送油ゴムホースに亀裂が生じ、漏洩した灯油に、燃焼室底の腐食による穴から漏れた炎が引火して火災に至った可能性が考えられるものの、当該製品を最後に使用してから長時間経過した後に、火災が発生していることから、原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2008/06/09)
A200800300 2008-1230 2008/06/10 (事故発生地) 神奈川県	石油給湯機付ふろがま 株式会社長府製作所 JIB-2	家人が当該機器を着火して外出し、その後、隣人が当該機器の異常に気づき消火した。 (火災)	事故原因は、整備不良状態での長期間使用(26年)により、燃焼不良に伴い燃焼室内に溜まった未燃灯油に残り火が発生し、送油ゴムホースの劣化による亀裂部から漏洩した灯油に残り火が引火して、火災に至ったと考えられる。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2008/06/20)

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁 受付年月日
A200800523 2008-2101 2008/08/12 (事故発生地) 愛知県	迅速継ぎ手（都市ガス用） 株式会社三栄水栓製作所 G25-13X10	居室内でタバコを吸おうと火を付けた際に爆発し、1名が死亡した。 (火災 死亡)	事故原因は、長期間使用（約23年）により、当該製品に亀裂が生じたため、ガスが漏れ、ライターの火が引火して火災に至ったものと考えられる。なお、当該製品は消費者により、ビニールテープで補修されていた。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2008/08/20)
A200800585 2008-2589 2008/08/30 (事故発生地) 山梨県	石油給湯機付ふろがま 株式会社長府製作所 JIB-7S	当該機器の追焚運転を開始後しばらくすると、異臭がして発煙していた。 (火災)	調査の結果、当該製品の焼損状況から当該製品内部の追い焚き関係の部品からの出火の可能性が考えられるが、当該部品の焼損が著しいため、原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2008/09/10)
A200800653 2008-2905 2008/09/20 (事故発生地) 熊本県	石油ふろがま 株式会社長府製作所 JPK-N3	浴槽に水を張りタイマーをセットしていたところ、しばらくすると異臭がし、発煙した。 (火災)	調査の結果、当該製品の缶体に変色が認められることや浴槽に水が残っていなかったことから、空焚き防止装置が正常に動作せず、空焚きが生じ、火災が発生した可能性が考えられるが、調査の過程で、空焚き防止装置の電極を入手することができなかったことから、原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2008/10/01)

経済産業省及び 消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は 消費者庁 受付年月日
A200800695 2008-3067 2008/09/21 (事故発生地) 東京都	カセットボンベ 日本瓦斯株式会社 ベチカッ子(株式会社ヨン カワブランド)	カセットコンロを使用したところ、当該 製品付近から火が出た。 (火災)	調査の結果、カセットコンロに当該製品が長期 間装着した状態であったため、当該製品のステ ムが長期間押し下げられた状態となり、ステ ムラバーが劣化して亀裂が生じてガスが漏れ、点 火時の火が引火し火災に至った可能性が考えら れたが、当該製品の保管状態が不明なため、原 因の特定には至らなかった。なお、当該製品は 警告表記がされている指定外の組み合わせのカ セットコンロで使用されていた。	引き続き同様の事故発生について注視して いくとともに、必要に応じて対応を行うこ ととする。	(受付:2008/10/10)
A200800717 2008-3165 2008/10/09 (事故発生地) 愛知県	石油ふろがま 株式会社長府製作所 CK-12JT	当該機器のスイッチを入れたところ、異 臭がし、発火した。 (火災)	事故原因は、長期間使用(約17年)により、 電磁ポンプの弁ゴムが変形したため、燃焼室内 に灯油が漏れだし、当該製品を着火した際に、 燃焼室内に溜まっていた灯油に引火し、火災に 至ったものと考えられる。	引き続き同様の事故発生について注視して いくとともに、必要に応じて対応を行うこ ととする。	(受付:2008/10/16)
A200800787 2008-3428 2008/10/30 (事故発生地) 神奈川県	屋外式ガス給湯暖房機(都 市ガス用) 松下住設機器株式会社(現 パナソニック株式会社) AT-241RFA-AL(東京ガス 株式会社ブランド)	使用中の浴室乾燥機の熱源である当該製 品の排気口から火が見えたため、消火し た。 (火災)	事故原因は、当該製品の熱交換器用Oリングが 、本来使用されるべきものとは異なる材質の ものに交換されていたため、当該Oリングが劣 化して、水漏れが生じ、バーナーブロックを腐 食させ、未燃ガスが生じて、事故に至ったと考 えられる。なお、Oリングを交換した経緯を特 定することはできなかった。	引き続き同様の事故発生について注視して いくとともに、必要に応じて対応を行うこ ととする。	(受付:2008/11/06)

